保安規定違反に係る事象の原因と再発防止策の概要

保安規定への適合状況

原因

【凡例 : 社内規程上での要求が十分でない

:教育が十分でない】

再発防止策

保安規定第33条第1項

「原子炉保護系計装のうち、中性子源領域中性子東高がモード5(a)において動作可能であること」に対して、当該計装が阻止されており、動作可能であることを満足していなかった。

当該講像の計画F別皆において、操作により運転モードの枝番が変更になり、要求される安全措置が変更になることを発電担当部署が認識できなかった。

保修担当部署において、当該試験に伴う操作により運転モードの枝番が変更となることについて教育が十分でなかった。 発電担当部署において、当該試験に伴う操作により運転モードの枝番が変更となり、要求される安全措置が変更になることに ついての教育が十分でなかった。

保修担当部署の操作により運転モードの枝番の変更が生じる場合に、保修担当部署と発電担当部署との作業の情報伝達を行う帳票に運転モードの変更有無等必要事項を記載することを規定していなかった。

発電担当部署は、運転モードの枝番の変更を伴う試験を安全上重要な作業として規定していなかったことから、運転モード変更 に伴う安全措置の要否を検討する必要がなかった。

当該
講験に伴う操作により
運転モードの
枝番が変更になる際に、
発電担当部署がトリップ機能を阻止状態から戻さなければいけないことに気づかなかった。

運転モードの枝番の変更を伴う試験であったが、安全上重要な作業として規定していなかったことから、運転モード変更に伴う安全措置の管理を検討する必要がなかった。

当該試験に伴う操作により運転モードの枝番が変更になる際に、発電担当部署が通常時と同様にトリップ機能の状態を確認することを規定していなかった。

当該の場合に伴う操作により運転モードの枝番が変更になり、トリップ機能が必要であるにもかかわらず阻止状態となっていることに気づかなかった。

発電担当部署は、運転状態のチェック表に運転モードの枝番を記載することを規定していなかった。 発電担当部署は、運転状態のチェック表において運転モードの枝番を含めた判定を行うことを規定していなかった。 発電担当部署が使用する運転状態のチェック表が原子炉トリップしゃ断器等の状態を直接チェックする様式ではなかった。

【教育の充実】

改正する社内規程を使用して、運転 モードの枝番の変更に係る管理方 法等について教育する。

【社内規程の改正】

運転モードの枝番の変更に係る管理方法等が明確になるよう社内規程を改正する。(実施済)

保安規定第86条第1項

「運転上の制限を満足していないことを速やかに判断する」に対して、運転上の制限を満足していない状況を確認していたにもかかわらず、事実確認に時間を費やしたため、速やかな判断が行われなかった。

発電担当部署は、原子炉トリップしゃ断器の投入及びトリップ機能の阻止を確認し、運転上の制限逸脱を判断するための材料が揃っていたにもかかわらず、運転上の制限逸脱の判断を速やかに行わなかった。

発電担当部署に対し、運転上の制限逸脱判断を行うべき時期についての教育が十分でなかった。

発電担当部署に対し、判断に迷ったら安全側に速やかに運転上の制限逸脱の判断を行うことについての教育が十分でなかった。

発電担当部署は、原子炉主任技術者に状況連絡を行ったが、運転上の制限逸脱を直接判断できる正確な情報は伝わっていなかった。

発電担当部署に対し、原子炉主任技術者()に状況連絡を行う際には、運転上の制限逸脱判断に必要な正確かつ具体的な情報を伝えることを徹底していなかった。

原子炉主任技術者の職務を規定した社内規程に、運転上の制限逸脱判断に関連する情報連絡を受けた場合に、判断に必要な正確かつ具体的な情報を入手し、発電担当部署が行う判断に対して、指示を行う旨を明記していなかった。

【教育の充実】

運転上の制限逸脱判断に関する 教育訓練を行うため、社内規程を 改正し、教育訓練項目を新たに設 ける。(実施済)

原子炉主任技術者から関係者に対し、運転上の制限逸脱判断に係る 事項について、指示文書にて指示 する。(実施済)

【社内規程の改正】

運転上の制限逸脱を判断できる正確な情報を伝えること、および情報を入手し必要な指示を行うよう社内規程を改正する。(実施済)

:原子炉主任技術者は国家試験である原子炉主任技術者免状を有している者から選任され、原子炉の運転に従事する者は、原子炉主任技術者が保安のためにする指示に従わなければならない。